

TRANSLATION OF THE CLAIM (ONLY ONE CLAIM) OF REFERENCE 3

What Is Claimed Is:

A milk coffee gum structure in which powdered milk or powdered cream is layered between chewing gum layers comprised of powdered coffee gum by tablet compression.



(1,500円)

实用新案登録願

昭和 46 年 4 月 1 日

特許庁長官 佐々木 學 殿

1. 考案の名称 ミルク コーヒーガムの構造

2. 考案者 住 所(居所) 神奈川県川崎市高津区高津七丁目
氏 名 ティムカシチエロウ
(国籍) 手標七五郎 (ほか 1名)3. 実用新案登録出願人 住 所(居所) 東京都新宿区百人町2丁目270
株式会社 ローツテ
(国籍) 代表者 重光武雄4. 代理人 住 所(居所) 東京都港区北青山2丁目7番18号 真砂ビルディング
電話東京(404) 5768番(代表)
氏 名(6401) 井理士 浜田治雄

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1 通
(2) 図面	1 通
(3) 願書副本	1 通
(4) 委任状	1 通



46-048636

方式
審査

46-6882-01 832-01

明細書

1. 考案の名称

ミルク コーヒーガムの構造

2. 實用新案登録請求の範囲

粉末コーヒーガムからなるチューインガム
層間に粉末ミルクまたは粉末クリームを層状に
打綴成形してなるミルク コーヒーガムの構造。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、粉末コーヒーガムと粉末ミルクまたは粉末クリームとを層状に打綴成形したミルク入りコーヒーチューインガムの構造に関するものである。

チューインガムベースに公知のチューインガム添加剤と共にコーヒー香味料を添加したコーヒーチューインガムが知られているが、所謂プラツクコーヒーの風味で、ミルクまたはクリーム入りコーヒーのまろやかな風味を味うことができなかつた。

そこで、このようなコーヒーチューインガム

にミルクまたはクリームを混入して苦みを和らげることが考案されるが、処理温度条件やガムベースとの相容性の問題、また、ミルク類を添加することにより吸湿性を高め、ミルク類の変質が著しく、チューインガムの保存性を悪化する欠点があり、所期の目的を達成することができなかつた。

考案者等は、鋭意研究の結果、コーヒー存在ガム成分とミルクまたはクリーム成分とを独立した層として横層することにより、これを阻害する際、口中でコーヒー存在ガム成分とミルクまたはクリーム成分とが噛碎され、まろやかなミルク・コーヒーの風味を口中に散出させることを確めた。

従つて、本考案の一般的な目的は、粉末コーヒーガムと粉末ミルクまたは粉末クリームを層状に重ねて圧縮打綴成形してなるミルク・コーヒーガムを提供するにある。

すなわち、本考案の主たる目的は、粉末コーヒーガムからなるチューインガム層間に粉末ミ

ルクまたは粉末クリームを層状に打綻成形してなるミルク コーヒーガムの構造を提供するにある。

次に、本考案に係るミルク コーヒーガムにつき添付図面を参照しながら以下詳細に説明すれば、粉末コーヒーガム層／に粉末ミルク層／を重ね、さらに粉末コーヒーガム層／を重ねて構成する。

なお、本考案で使用する粉末コーヒーガムは、粉末ガムに適量のコーヒー粉末香料を均質に混合したものである。

本考案に係るミルク コーヒーガムは、3層打綻機の成形容器に粉末コーヒーガム、粉末ミルクおよび粉末コーヒーガムを順次定量づつ投入し、これを打綻成形することにより容易に製造することができる。

また、第2図に示すように、粉末ミルク層／を粉末コーヒーガム層／で完全に被包する構成とすることもできる。

この場合、前記製造方法において、粉末ミル

タの投入を打成形容器の中央部に集中させる
ことにより容易に達成することができる。

本考案に係るチューインガムは、噛み砕くと
同時に中間層の粉末ミルクが口中に広がり、次
第にコーヒーガムの香味と融和して、コーヒ
ガム単独では得られない特異なしかも芳醇な味
覚を味うことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案に係るミルク コーヒー
ガムの断面図、第2図は、第1図に示すミルク
コーヒーガムの変形例の断面図である。

1..... 粉末コーヒーガム

2..... 粉末ミルク

実用新案登録出願人 株式会社 ロッテ

出願人代理人弁理士 浜田裕雄

FIG.1

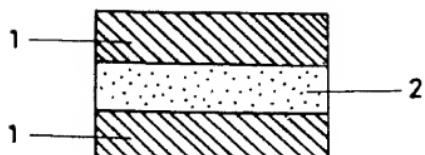
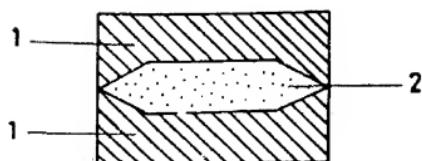


FIG.2



实用新案登録出願人 株式会社 ロッテ

出願人代理人 フェニックス 浜田 治雄

48-6382-06

12-6382-06

6.前記以外の考案者

住 所 千葉県野田市野田 500番地

氏 名 潤 能 忠

48-6382-07
48-2382-07

FIG.1

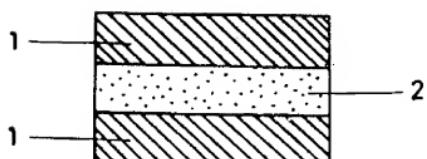
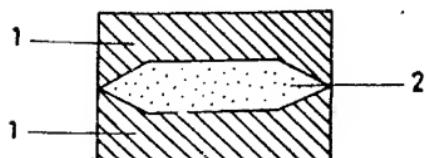


FIG.2



In Figs. 1 and 2, 1 denotes powdered coffee gum, and
2 denotes powdered milk

实用新案登録出願人 株式会社 ロッテ

出願人代理人 特理士 浜田 治雄

48-6382-06

48-6382-06